

EasyBlocks

DHCP2000/4000/6000

ユーザーズガイド

ファームウェア Ver1.0.3 以降に対応

対象モデル

BPV4/DHCPU, EBX9/DHCP4000, EBX9/DHCP2000



■ 商標について

- Microsoft は、Microsoft Corporation の商標です。
- Microsoft, MS-DOS, Windows, Windows NT, Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corp.の米国およびその他の国における商標または、登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することとはご遠慮ください。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

目次

1. はじめに	4
1.1. 各部の名称	4
1.2. ケーブルクランプの取り付け	6
1.3. ステータスインジケータの点灯について	7
1.4. 出荷時設定情報	8
2. 設置・初期設定	10
2.1. 設置・設定のステップ	10
2.2. 設置方法	10
2.3. 管理インタフェースへの接続	11
2.4. 初期設定	11
3. 管理インタフェース	17
3.1. ダッシュボード	17
4. 管理サービスの設定	18
4.1. システム	18
4.2. ネットワーク	24
4.3. メンテナンス	28
4.4. AirManage	32
5. DHCP サービスの設定	38
5.1. サービス	38
5.2. 基本	40
5.3. サブネット	41
5.4. ホスト管理	45
5.5. ログ	50
5.6. メンテナンス	52
5.7. 設定編集 (サービスタブで直接編集を有効にしたときだけ表示)	54
6. その他利用方法	55
6.1. SSH でログイン	55
6.2. シリアルコンソールでログイン	56
6.3. スコープを分割した冗長化	57
6.4. ファクトリーリセット	58

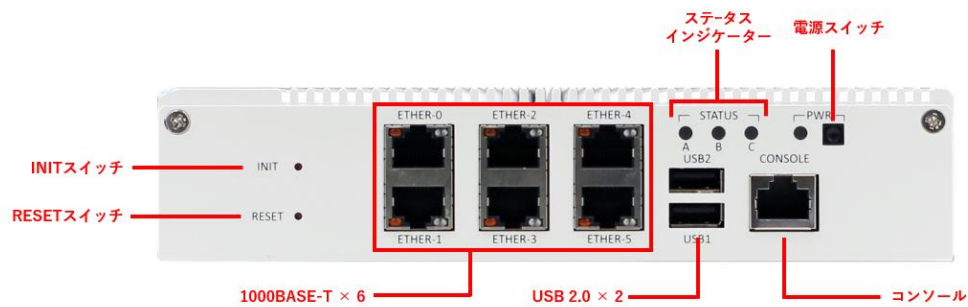
6.5. BIOS 設定	59
--------------------	----

1. はじめに

1.1. 各部の名称

1.1.1. 型番 : BPV4/DHCPU

■ 前面コネクタ

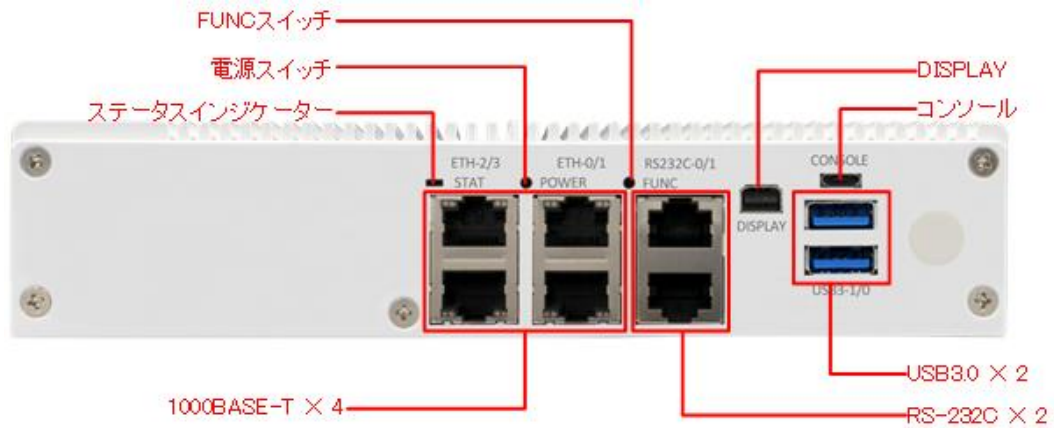


■ 背面コネクタ



1.1.2. 型番 : EBX9/DHCP2000、EBX9/DHCP4000

■ 前面コネクタ



■ 背面コネクタ



1.2. ケーブルクランプの取り付け

1.2.1. 型番 : BPV4/DHCPU

AC-IN 上の穴に添付のクランプを差し込みます



1.2.2. 型番 : EBX9/DHCP2000、EBX9/DHCP4000

AC-IN 上の穴に添付のクランプを差し込みます



1.3. ステータスインジケータの点灯について

1.3.1. 型番 : BPV4/DHCPU

状態	ステータスインジケータ
停止中	A～C は消灯しています。 PWR は青点灯しています。
起動処理中・停止処理中	A が黄色点灯します。 B 及び C は消灯しています。 PWR は緑点灯しています。
稼働中(通常稼働中)	A が緑点滅します。 B 及び C は消灯しています PWR は緑点灯しています。。
稼働中(AirManage 加入失敗時)	A が赤点灯します。 B 及び C は消灯しています。 PWR は緑点灯しています。

1.3.2. 型番 : EBX9/DHCP2000,EBX9/DHCP4000

状態	ステータスインジケータ
停止中	ステータスインジケータは消灯しています。
起動処理中・停止処理中	ステータスインジケータは黄色点灯しています。
稼働中(通常稼働中)	ステータスインジケータは緑点滅しています。
稼働中(AirManage 加入失敗時)	ステータスインジケータは赤点灯しています。

1.4. 出荷時設定情報

1.4.1. IP アドレス

1.4.1.1. 型番 : BPV4/DHCPU

インタフェース	IP アドレス	ネットマスク
Ether-0(eth0)	192.168.254.254	255.255.255.0
Ether-1(eth1)	未設定	未設定
Ether-2(eth2)	未設定	未設定
Ether-3(eth3)	未設定	未設定
Ether-4(eth4)	未設定	未設定
Ether-5(eth5)	未設定	未設定

1.4.1.2. 型番 : EBX9/DHCP2000、EBX9/DHCP4000

インタフェース	IP アドレス	ネットマスク
Ether-0(eth0)	192.168.254.254	255.255.255.0
Ether-1(eth1)	未設定	未設定
Ether-2(eth2)	未設定	未設定
Ether-3(eth3)	未設定	未設定

1.4.2. WEB I/F の URL

http://192.168.254.254:880/

※Edge、Chrome、Firefox 等の最新バージョン利用を推奨します。尚、WEB I/F では JavaScript を使用していますので、JavaScript は有効にしてください。

1.4.3. WEB I/F の管理者ユーザー

初回アクセス時に、ご自身で設定していただきます。

1.4.4. シリアルコンソール/SSH 用 管理者ユーザー

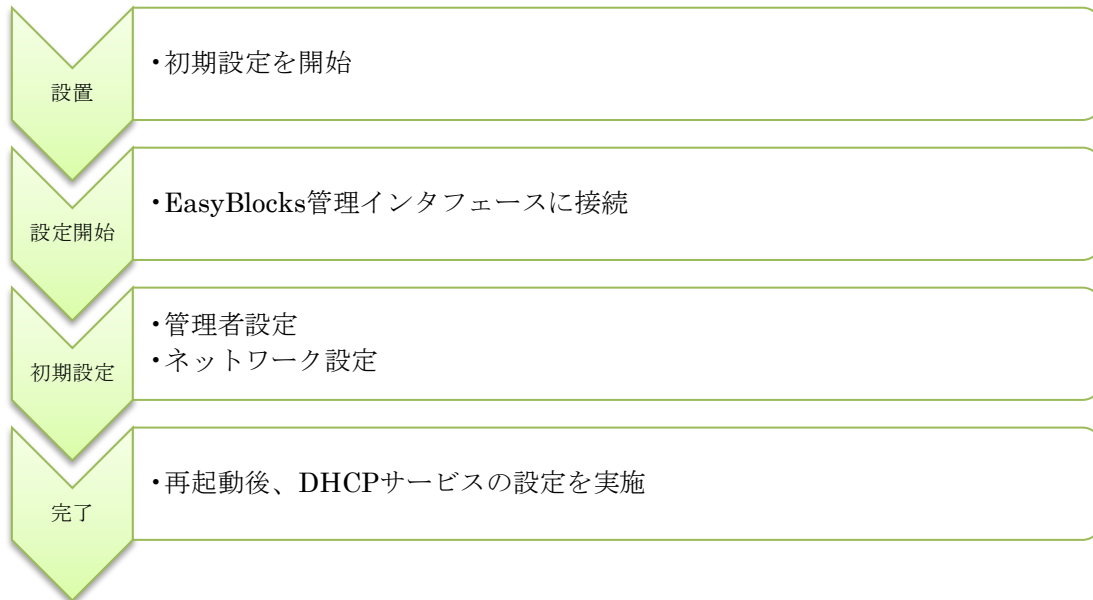
シリアルコンソールや SSH でのアクセスをしなくとも運用管理は可能ですが、必要な場合は以下の ID・パスワードを使用してください。

ID	ebsupport
パスワード	ebdhcp

※ebsupport ユーザーは sudo コマンドにて bash を使用可能です。そのため、sudo bash 後に必要に応じてコマンドをご使用ください。

2. 設置・初期設定

2.1. 設置・設定のステップ



2.2. 設置方法

次のように同時に複数のネットワークに接続することが可能です。Ether-0～5(eth0～eth5)または Ether-0～3(eth0～eth3)までのポートそれぞれを別々に利用できます。

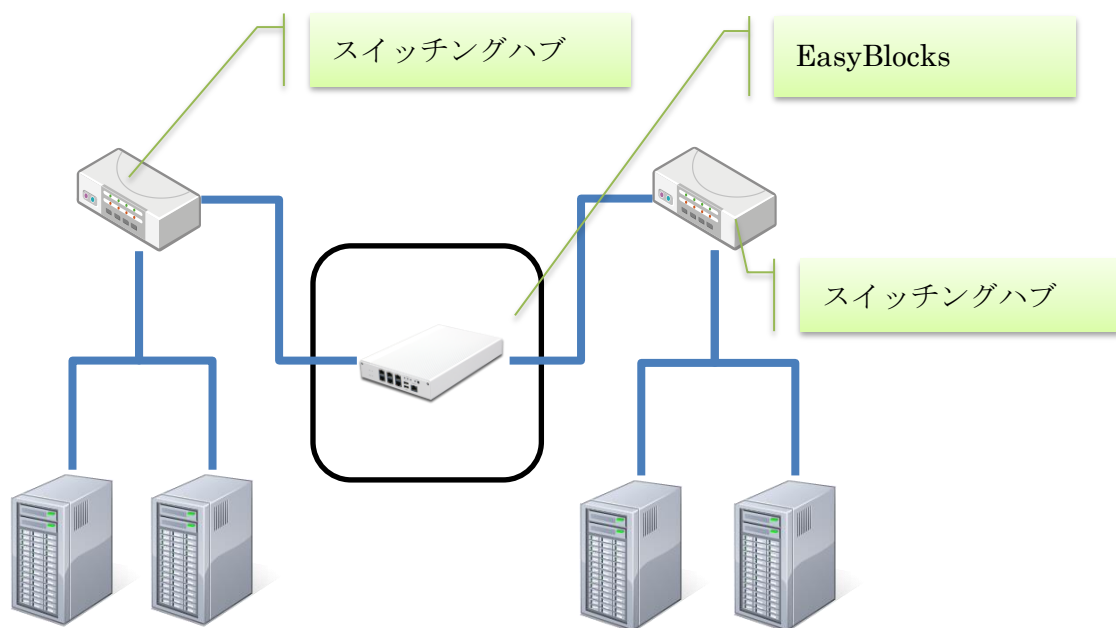


図 2-a ネットワーク構成

IP アドレスは各 Ether ポートに 1 つだけ設定し、それを全サービスで共有します。

2.3. 管理インタフェースへの接続

Ether-0 に対して、設定用の PC を接続してください。1-4. 出荷時設定情報に記載の通り、次の URL で管理インタフェースを表示することが可能です。

Ether-0 : <http://192.168.254.254:880/>

2.4. 初期設定

管理インタフェースを表示すると、初期設定画面が表示されます。

使用許諾契約書の確認

使用許諾契約書

この契約は、お客様とぶらっとホーム株式会社（以下、当社とします。）との間に締結される契約です。お客様がこの契約に同意できない場合には、本体未開封のまま本製品および付属品一式をご購入先まで返品ください。

第1条 定義

本契約における使用許諾の範囲は、当社製品「EasyBlocks シリーズ」付属の管理ツールをいい、WUI（ウェブ・ユーザー・インターフェース）ソフトウェア製品（以下、本ソフトウェア製品とします。）および取り扱い説明書などの付属資料一式が対象となります。

本契約において「知的財産権」とは、特許権（特許出願権を含む）著作権、ノウハウその他一切の知的創作物に対する権利または法律上の利益をいいます。

第2条 使用許諾

お客様は、本契約の全項目に合意することを条件として、本ソフトウェア製品を、契約対象のハードウェアにお

同意する

同意しない

使用許諾契約書に同意することで、設定項目が表示されます。

EasyBlocks DHCP

初期設定

使用許諾契約書の確認

使用許諾契約書

管理者アカウント

ユーザー名

パスワード

パスワード (確認)

操作

ユーザー名：	管理インターフェースへのログインに使用します アルファベット(A-Z,a-z)及び数字が使用できます
パスワード：	同用途のパスワードです
パスワード(確認)：	//

これらを設定後、保存することで次の画面に進みます。

初期セットアップ中です。ネットワーク設定を完了させ、[再起動](#)してください。

基本

プロキシ

ルーティング

状態

共通設定

ホスト名 (2)	<input type="text" value="@easyblocks"/>
ドメイン名 (2)	<input type="text" value="example.org"/>
デフォルトゲートウェイ (2)	<input type="text" value=""/>
デフォルトゲートウェイ (IPv6)	<input type="text" value=""/>
DNSサーバ (追加)	<input type="text" value=""/> <input type="button" value="削除"/>
	<input type="text" value=""/> <input type="button" value="削除"/>
DNSサーバ (IPv6) (追加)	<input type="text" value=""/> <input type="button" value="削除"/>
	<input type="text" value=""/> <input type="button" value="削除"/>

サービスネットワーク (eth0)

使用する	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.253.24"/> (2)
IPアドレス (IPv6)	<input type="text" value=""/> <input type="button" value="アドバタイズ情報を取得"/>

サービスネットワーク (eth1)

使用する	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
------	---

サービスネットワーク (eth2)

使用する	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
------	---

※共通項目

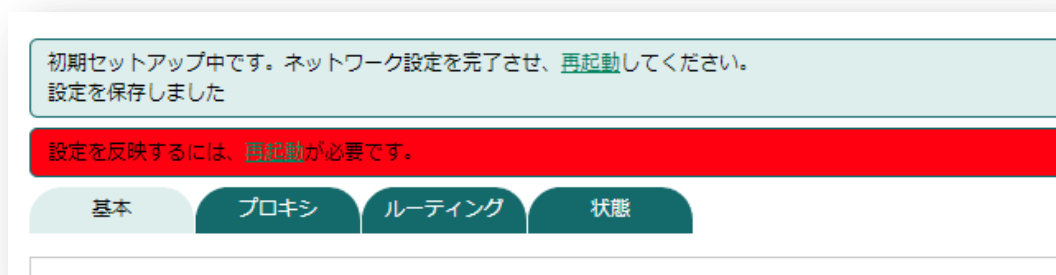
ホスト名	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
デフォルトゲートウェイ	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
デフォルトゲートウェイ (IPv6)	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイの IPv6 アドレス ※「アドバタイズ情報を取得」ボタンにてルータ等から設定されている IPv6 アドレスが設定されます。
DNS サーバ	サービスネットワークで使用している既存の DNS サーバのアドレス
DNS サーバ (IPv6)	サービスネットワークで使用している既存の DNS サーバの IPv6 アドレス

※各サービスネットワーク

使用するインターフェース(Ether-0～Ether5 または Ether-0～Ether3)の IP アドレスを設定します。

IP アドレス	サービスネットワークに参加する際の IP アドレス 「/」以降の項目には、ネットマスクをビット表記で入力します。 一般的な 255.255.255.0 であれば「24」となります。
IP アドレス(IPv6)	サービスネットワークに参加する際の IPv6 アドレス 「/」以降の項目には、プレフィックス長を入力します。 ※「アドバタイズ情報を取得」ボタンにてルーター等から設定されている IPv6 アドレスが設定されます。

これらを設定後、保存することで画面上に再起動の案内が表示されます。リンクをクリックすることで、再起動画面に移動します。





再起動の実行ボタンをクリックすることで、再起動が可能です。



再起動が完了し、設定した IP アドレスの URL(<http://<IP アドレス>:880/>)にアクセス後、ログインすることで上記画面に移動します。以降は目的に応じて、各設定を実施してください。

3. 管理インターフェース

管理インターフェースの基本的な画面構造について解説します。

3.1. ダッシュボード



① メニュータブ

白抜き部分が表示中の項目です

ダッシュボード：システム全体の概要を表示します

DHCP：DHCP 設定

システム：Syslog 通知、時刻設定や管理者設定等

ネットワーク：ネットワーク (IP アドレスや HTTP プロキシ) 設定

メンテナンス：アップデートや再起動等

AirManage：AirManage 設定

技術情報：弊社技術情報 HP へのリンク

② ログイン中の管理者表示及びログアウト、パスワード変更リンク

③ ハードウェアリソースを表示

④ ネットワーク設定情報の簡易表示

⑤ 動作中の最新ログを表示

4. 管理サービスの設定

4.1. システム

4.1.1. 基本

基本WEB管理者マイページEasyBlocksS/N

Syslog通知 (?)

通知を行う

☐ はい ☒ いいえ

ファシリティ

local3 ▼

プロセス監視

プロセス監視 (?)

無効 ▼

時刻設定 (?)

タイムゾーン

Asia/Tokyo ▼

PCと時刻を同期 (?)

2019/10/29 14:29:13 同期

ntpサーバ1(?)

☐ オプションを使う

ntpサーバ2

☐ オプションを使う

ntpサーバ3

☐ オプションを使う

ntpサーバ4

☐ オプションを使う

ntpサーバ5

☐ オプションを使う

ntpサーバ6

☐ オプションを使う

操作

保存

◆ Syslog 通知

通知を行う	システム稼働やサービス稼働時等の Syslog 通知を行うかどうかの設定となります。
Syslog サーバー	3 台まで設定可能
ファシリティ	LOCAL0～LOCAL7の中から選択

※Syslog サーバーに対して IPv6 通信にて送信する場合には、”[<IPv6 アドレス>]”として設定してください。

◆ プロセス監視

プロセス監視	システム稼働におけるプロセスチェックを定期的に行います。 意図しないプロセスの終了時にアラートが発生します。
--------	---

※アラート内容はダッシュボードに表示されます。また、**AirManage** を使用している場合、**AirManage** 側にもアラートが上がるようになっています。

◆ 時刻設定

タイムゾーン	設置場所のタイムゾーン又は UTC を選択出来ます
PC と時刻を同期	操作用 PC の時刻情報を装置におくり反映させます
NTP サーバー	6 台まで設定可能 指定した NTP サーバーから時刻情報の取得を行います。また、 各サーバー毎に NTP オプションを設定可能です。

※ EasyBlocks では NTP サービスが稼働しています。そのため、NTP サーバーとして使用することが可能です。

4.1.2. WEB 管理者

基本WEB管理者マイページEasyBlocksS/N

追加・変更

ユーザー名 (2)

パスワード

操作

保存

クリア

一覧

ユーザー名

操作

admin

[編集](#) / [削除](#)

ユーザー名	WEB I/F にアクセスする WEB 管理者を追加(変更)するユーザー名を設定します。
パスワード	WEB I/F にアクセスする WEB 管理者を追加(変更)するユーザーをパスワードを設定します。

4.1.3. マイページ

基本WEB管理者マイページEasyBlocksS/N

登録情報の編集

ユーザー名admin

パスワード

操作

保存

クリア

ユーザー名	ログイン中のアカウントの登録情報を編集するため、ユーザー名は変更できません
パスワード	変更するパスワードを入力します。

4.1.4. EasyBlocks

基本WEB管理者マイページEasyBlocksS/N

使用許諾/オープンソースライセンス

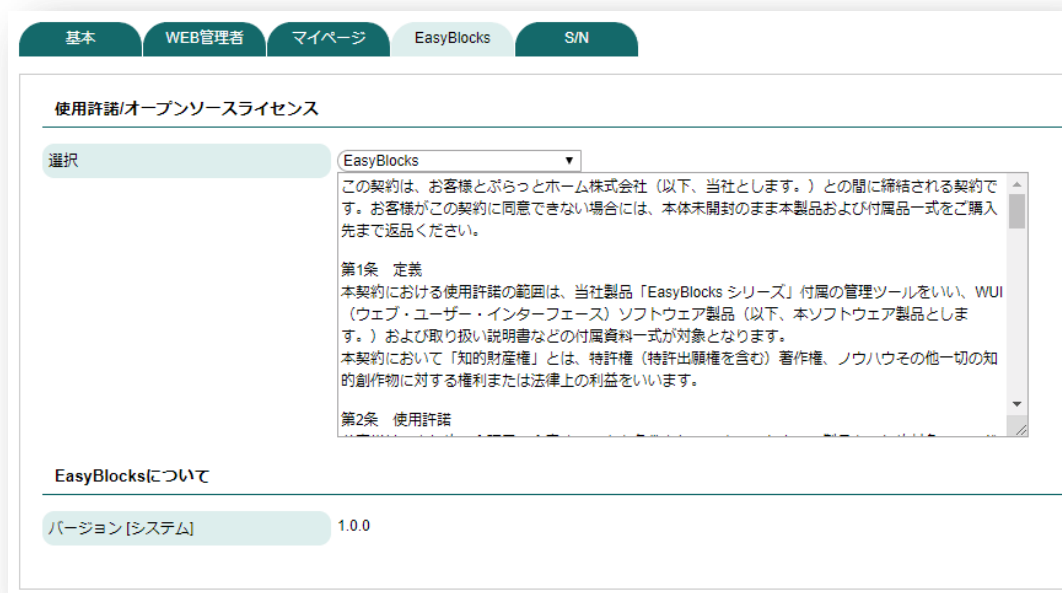
選択

選択したものを表示します

EasyBlocksについて

バージョン [システム]

1.0.0



バージョン及び使用許諾/ライセンスを表示します。
尚、使用許諾/ライセンスは表示するものを選択後、表示されます。

4.1.5. S/N

基本	WEB管理者	マイページ	EasyBlocks	S/N
----	--------	-------	------------	-----

S/N
本体シリアル番号
I1900030

EasyBlocks の本体シリアル番号を表示します。

4.2. ネットワーク

4.2.1. 基本

The screenshot displays the '共通設定' (Common Settings) tab. It includes the following fields and sections:

- 共通設定**
 - ホスト名 (2): easyblocks
 - ドメイン名 (2): example.org
 - デフォルトゲートウェイ (2): 172.16.7.1
 - デフォルトゲートウェイ (IPv6):
 - DNSサーバ (追加): 172.16.2.6
 - DNSサーバ (IPv6) (追加):
- サービスネットワーク (eth0)**
 - 使用する: ☒ はい ☐ いいえ
 - IPアドレス: 172.16.7.222 / 24 (2)
 - IPアドレス (IPv6): /
- サービスネットワーク (eth1)**
 - 使用する: ☐ はい ☒ いいえ
- サービスネットワーク (eth2)**
 - 使用する: ☐ はい ☒ いいえ

◆ 共通設定

ホスト名	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
デフォルトゲートウェイ	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
デフォルトゲートウェイ (IPv6)	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイの IPv6 アドレス ※「アドバタイズ情報を取得」ボタンにてルータ等から設定されている IPv6 アドレスが設定されます。
DNS サーバ	サービスネットワークで使用している既存の DNS サーバのアドレス
DNS サーバ (IPv6)	サービスネットワークで使用している既存の DNS サーバの IPv6 アドレス

◆ サービスネットワーク

使用する	はい / いいえ で選択
IP アドレス	当該インタフェースに割り当てる IPv4 アドレスを指定
IP アドレス(IPv6)	当該インタフェースに割り当てる IPv6 アドレスを指定

4.2.2. 詳細

基本 プロキシ ルーティング 状態

プロキシ(必要な場合)

アドレス:ポート http:// proxy.example.org : 8080

BASIC認証(必要な場合) ユーザーID: username パスワード: password

非Proxyアクセスホスト 127.0.0.1,localhost

操作

保存

◆ プロキシ

アドレスポート	HTTP プロキシ環境の場合に、HTTP プロキシサーバーアドレスとポート番号を入力してください
BASIC 認証	必要な場合に、ユーザーID・パスワードを入力してください
非 Proxy アクセスホスト	HTTP プロキシを経由せずにアクセスするホストを”,”区切りにて指定してください。 尚、AirManage の機能にて HTTP 通信を行っている為、HTTP プロキシを使用する場合には”localhost,127.0.0.1”を設定してください。

4.2.3. ルーティング

基本

プロキシ

ルーティング

状態

静的ルーティングが必要な場合は、ここで設定を行います。

ターゲットとゲートウェイ (2)

ネットワークアドレス

/

(2)

ゲートウェイ

操作

保存

クリア

一覧

ネットワークアドレス

ネットマスク

ゲートウェイ

操作

ネットワークアドレス	宛先のネットワークアドレス、ネットマスクを入力します
ゲートウェイ	利用するゲートウェイのアドレスを入力します

4.2.4. 状態

基本

プロキシ

ルーティング

状態

状態

ip addr show up

1: lo: <LOOPBACK,UP,LOWER_UP> mtu 65536 qdisc noqueue state UNKNOWN group default qlen 1000
link/loopback 00:00:00:00:00:00 brd 00:00:00:00:00:00
inet 127.0.0.1/8 scope host lo
valid_lft forever preferred_lft forever
inet6 ::1/128 scope host
valid_lft forever preferred_lft forever
6: eth0: <BROADCAST,MULTICAST,UP,LOWER_UP> mtu 1500 qdisc mq state UP group default qlen 1000
link/ether 00:60:e0:66:ce:cb brd ff:ff:ff:ff:ff:ff
inet 172.16.7.222/24 brd 172.16.7.255 scope global eth0
valid_lft forever preferred_lft forever
inet6 fe80::260:e0ff:fe66:cecb/64 scope link
valid_lft forever preferred_lft forever

netstat -nr

Kernel IP routing table
Destination Gateway Genmask Flags MSS Window irtt Iface
0.0.0.0 172.16.7.1 0.0.0.0 UG 0 0 0 eth0
172.16.7.0 0.0.0.0 255.255.255.0 U 0 0 0 eth0

arp -an

? (172.16.7.228) at 00:60:e0:6a:02:29 [ether] on eth0
? (172.16.7.116) at d0:50:99:1a:14:cb [ether] on eth0
? (172.16.7.1) at 00:a0:de:65:73:41 [ether] on eth0

/etc/hosts

\$ssdlinux: hosts,v 1.1.1.1 2002/05/01 15:55:18 kanoh Exp \$

Host Database
This file should contain the addresses and aliases
for local hosts that share this file.
It is used only for "ifconfig" and other operations
before the nameserver is started.

::1 localhost
127.0.0.1 localhost
127.0.0.1 easyblocks.example.org

/etc/resolv.conf

nameserver 172.16.2.6

ネットワークに関する現行の状態を表すコマンド結果を表示します。

4.3. メンテナンス

4.3.1. 設定

設定

システムの更新

停止・再起動

サポート

設定情報

エクスポート (?)

実行

インポート (?)

ファイルを選択

選択されていません

実行

エクスポート	EasyBlocks 全体の設定をエクスポート
インポート	// をインポート

4.3.2. システムの更新

設定

システムの更新

停止・再起動

サポート

アップデート

オンライン

(確認結果)

更新有無を確認

オフライン

ファイルを選択

選択されていません

実行

設定

システムの更新

停止・再起動

サポート

アップデート

オンライン

更新があります

更新有無を確認

更新予約をする

更新情報

オフライン

ファイルを選択

選択されていません

実行

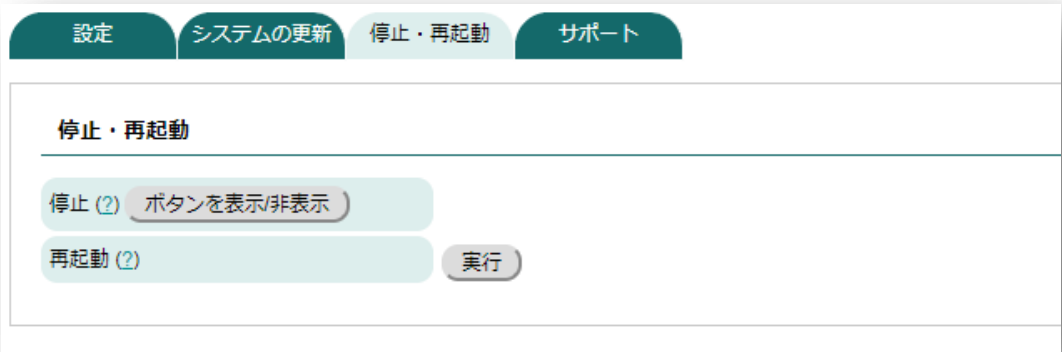
* Packages list

ebdhcp-webui 1.0.0-0d0 -> 1.0.0-0d1

オンライン	「更新有無を確認」ボタンを押すことによりインターネット接続を用いて、アップデートデータがあるか確認を行います。 また、アップデートデータが存在する場合、「更新予約をする」ボタンが表示されます。このボタンを押し、再起動を行うことで、アップデートが行われます。
オフライン	オフラインアップデート用のファイルを送付することで、インターネット接続がなくてもアップデートを実行します。実行に当たっては、再起動が実施されます。

オンラインアップデートは AirManage サービスを使用する必要があります。
そのため、事前に AirManage サービスへ加入してください。

4.3.3. 停止・再起動



停止	EasyBlocks を停止します
再起動	// を再起動します

4.3.4. サポート

設定

システムの更新

停止・再起動

サポート

問い合わせ先

対応時間

月～金曜日 9:30-18:00 ※ 祝祭日・年末年始を除く

E-Mail

support@plathome.co.jp

ログ・環境情報取得

ダウンロード

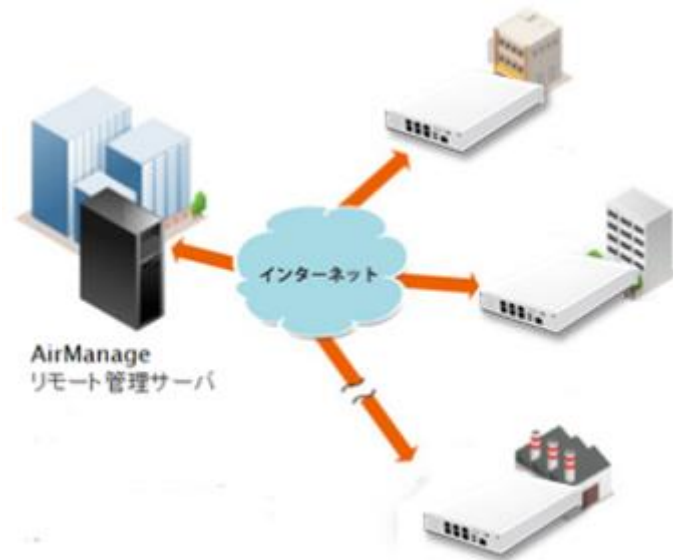
実行

問い合わせ先	弊社サポートの連絡先を記載しております。
ログ・環境情報取得	不具合等の問い合わせ時には、こちらでダウンロードした情報をお送り下さい。状況確認の参考にさせていただきます。ダウンロードできるデータは、tar + gzip 形式でありご自身で内容をご確認いただくことも可能です。

4.4. AirManage

AirManage は遠隔地に配備した EasyBlocks を管理する機能です。

AirManage はインターネット上に用意している AirManage リモート管理サーバと各 EasyBlocks 間で通信を行い、各 EasyBlocks の管理や制御等を行います。



4.4.1. AirManage

AirManage サービスを使用する場合には、事前に AirManage リモート管理サーバ側に EasyBlocks を登録する必要があります。登録が未完了の場合や確認を行いたい場合は「AirManage 登録」を先に実施してください。

AirManage	AirManage登録
AirManage	
使用設定	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない
操作	
<input type="button" value="保存"/>	

AirManage

AirManage登録

AirManage

使用設定

☒ 使用する
☐ 使用しない

適用方法

☒ サービス加入のみ
☐ ゼロコンフィグ(ネットワーク設定保持)
☐ ゼロコンフィグ

サービス適用URL

事前確認

操作

使用設定	AirManage サービスを使用するかの設定を選択します。
適用方法	<p>AirManage サービスに参加する際の設定方法を以下から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サービス加入のみ AirManage サーバへアクセスを行うのみです。コンフィグは適用されませんが、サービスに加入し各種機能が使用可能となります。 ●ゼロコンフィグ(ネットワーク設定保持) AirManage サーバからコンフィグをダウンロードしネットワークの設定以外について EasyBlocks へ適用します。 ●ゼロコンフィグ AirManage サーバからコンフィグをダウンロードし EasyBlocks へ適用します。
サービス適用 URL	<p>サービス加入の際に弊社から連絡のあった FQDN 情報をフォームに入力します。</p> <p>※後述の AirManage 登録にて確認まで済ませた場合、フォームは自動で反映されます。</p>
事前確認	「確認」ボタンを押すことでノード側のネットワーク及び設定している URL 情報を用いて、AirManage サーバ側に登録されているか確認を行います

事前確認の「確認」ボタンを押し **AirManage** が問題なく利用できる状態の場合、「保存&実行」ボタンが表示されます。「保存&実行」を押した場合、即座に **AirManage** を利用する為の再起動処理が行われます。

4.4.2. AirManage 登録

本項目では、EasyBlocks がインターネットへの接続が行える必用があります。

AirManage

AirManage登録

AirManage登録手順

AirManageを利用する場合、以下の手順に従って本体の登録を完了する必要があります。
尚、既にアカウント作成及びテナントの作成が完了している場合に、本体登録までの手順を省略することができます。
その場合には、各フェーズでは確認を行うのみで問題ありません。
i. アカウント作成
ii. テナント作成
iii. 本体登録

AirManageを使用するにはサブスクリプションへ加入する必要があります。
サブスクリプションの有効期限の確認や期限の延長に関しては [こちら](#) をご使用ください。

AirManageアカウント確認

E-Mail

test@example.com

操作

AirManageアカウント確認

◆ アカウント確認

AirManage のアカウントが存在しているかの確認を行います。存在していない場合、アカウント作成フォームが表示されます。尚、アカウントが存在しテナントに所属していない場合、テナント作成フォームが表示されます。

E-Mail	AirManage サービスのログインアカウントに用いる E-Mail アドレスを入力します。
操作	「アカウント確認」ボタンを押すことにより、AirMange サービスのアカウントが存在しているか確認を行います。

◆ アカウント作成

AirManage のアカウントが存在していない場合、アカウントを作成する必要があります。

アカウント名	AirManage サービスにて表示されるアカウント名を入力します。
--------	------------------------------------

パスワード	AirManage サービスにログインする際のパスワードを入力します。パスワードに使用可能な文字は” ” (スペース)を除く半角英数字となります。また、文字数は最低 8 文字となります。
パスワード(確認用)	AirManage サービスにログインする際の確認用のパスワードを入力します。
操作	「アカウント作成」ボタンを押すことにより、AirMange サービスのアカウント作成処理を行います。 作成処理が正常に行われた場合、設定している E-Mail アドレス宛に仮登録受付メールが届きます。メール本文内からのブラウザでアクセスすることで、本登録が行われます。

◆ テナント作成

アカウントがテナントに所属していない場合、テナント作成フォームが表示されます。

テナント記号	ユーザーが所属するテナントをユニークに扱う為、記号(名称)を入力します。入力可能文字は英数字及び記号の”_”となります。
操作	「テナント作成」ボタンを押すことにより、テナントの作成処理が行われます。 既に同一名のテナントが存在する場合には作成できません。

◆ 本体登録確認

AirManage サービスに、EasyBlocks 本体が登録されているか確認を行います。登録されていない場合、本体登録フォームが表示されます。

操作	「本体登録確認」ボタンを押すことにより、EasyBlocks 本体が AirManage に登録されているか確認を行います。 既に問題なく登録されている場合には、AirManage の初回アクセス設定部の設定を反映する確認のポップアップが表示されますので、「OK」等の了承するボタンを押してください。
----	---

◆ 本体登録

AirManage に EasyBlocks 本体の登録を行います。

ノード名	AirManage のテナント内で EasyBlocks 本体をユニークに識別する為のノード名を入力します。 入力可能文字は英数字及び記号の”_”となります。
操作	「本体登録」ボタンを押すことにより、EasyBlocks 本体がテナント一覧で選択しているテナントに対して、入力したノード名で AirManage に登録されます。 正常に登録できた場合、AirManage の初回アクセス設定部の設定を反映する確認のポップアップが表示されますので、「OK」等の了承するボタンを押してください。

登録が完了したら、”4.4.1 AirManage”を参考に AirManage の利用開始を行ってください。

5. DHCP サービスの設定

5.1. サービス

サービス

基本

サブネット

ホスト管理

ログ

メンテナンス

サービスについて

起動 (2)

有効

無効

設定を直接編集する (2)

はい

いいえ

操作

保存

動作ログ

動作ログが確認できませんでした。

サービス

基本

サブネット

ホスト管理

ログ

メンテナンス

サービスについて

起動 (2)

有効

無効

設定を直接編集する (2)

はい

いいえ

プロセス操作

設定の再起動

操作

保存

動作ログ

Jul 29 16:54:46 easyblocks DHCPサービスを有効にしました。
Jul 29 16:54:48 easyblocks DHCPサービスを起動しました。

5.1.1. サービスについて

◆ 起動

DHCP サービスを有効にする場合は「有効」を、無効にする場合は「無効」を選択してください。

5.1.2. 設定を直接編集する

「はい」にするとコンフィグファイルを直接編集することが出来ます。ただし、直接編集の結果を WEB 設定で変更することは出来ません。

5.1.3. プロセス操作

設定を行った際に、サービスのリロードを要求するメッセージが表示された場合は、「設定の再起動」ボタンを押してください。

DHCP2000 及び DHCP4000 モデルの場合、本章以降での払い出しレンジ数及び管理ホスト数は制限を設けています。

そのため、制限内に収まるように設定を行ってください。

5.2. 基本



The screenshot shows a web-based configuration interface for a DHCP server. At the top, there are six tabs: サービス, 基本, サブネット, ホスト管理, ログ, and メンテナンス. The '基本' tab is currently selected. Below the tabs, the page title is 'DHCPサーバ設定(2)'. Under the heading '動作オプション', there are two settings: '割り当て前Pingチェック' and 'eth0 IP配布'. Each setting has a light blue button and two radio buttons labeled '有効' and '無効'. For '割り当て前Pingチェック', the '無効' radio button is selected. For 'eth0 IP配布', the '無効' radio button is also selected. Below these settings is a section labeled '操作' which contains a '保存' button.

◆ 割り当て前 Ping チェック

払い出す IP アドレスが既に使われているかどうかを確認するために、事前に Ping を実行する機能です。通常、DHCP クライアントは使用する IP アドレスの重複確認と再取得を行います。重複確認を行わない端末が存在する場合や再取得が正常に行えない可能性がある場合は有効にしてください。よくわからない場合は、有効にしてください。

◆ インターフェース名(eth0 等)

対象のインターフェースから IP アドレスの払い出しを行う場合は有効にしてください。この項目を有効にすると、当該インターフェースの DHCP サブネット設定項目が表示されます。

5.3. サブネット

The screenshot shows a web-based configuration interface for adding a new subnet. At the top, there are tabs for 'サービス' (Service), '基本' (Basic), 'サブネット' (Subnet), 'ホスト管理' (Host Management), 'ログ' (Log), and 'メンテナンス' (Maintenance). The 'サブネット' tab is selected. Below the tabs, there is a section titled '追加サブネット一覧' (Add Subnet List) with a table containing columns: 'ネットワークアドレス' (Network Address), '範囲(ネットマスク)' (Range (Netmask)), 'デフォルトゲートウェイ' (Default Gateway), 'リース時間 (標準/最大)' (Lease Time (Standard/Maximum)), and '操作(2)' (Action (2)).

Below the table is the 'サブネット追加 (*は必須項目となります。)' (Add Subnet (*required items)) form. The form includes the following fields and options:

- ネットワークアドレス ***: A text input field for the network address.
- 動的IPアドレスを配布しない**: A checkbox to disable DHCP.
- ネットマスク ***: A text input field for the subnet mask.
- 割り当てポリシー**: A dropdown menu with 'すべて許可' (Allow all) selected.
- 範囲 ***: A text input field for the range, with a '追加' (Add) button next to it.
- ドメインネーム**: A text input field for the domain name.
- デフォルトゲートウェイ**: A text input field for the default gateway.
- DNSサーバ**: A text input field for the DNS server, with a '追加' (Add) button next to it.
- 標準リース時間**: A dropdown menu with '1日' (1 day) selected.
- 最大リース時間**: A dropdown menu with '1週間' (1 week) selected.
- WINSサーバ**: A text input field for the WINS server, with a '追加' (Add) button next to it.
- WPAD URL**: A text input field for the WPAD URL.
- 保存**: A button to save the configuration.

IP アドレスの払い出しを行う範囲等の設定を行います。尚、直接接続しないサブネットへの IP アドレスの払い出しには DHCP Relay Agent が必要となりますが、配布設定は本ページにて設定します。

◆ ネットワークアドレス

IP を払い出すネットワークのアドレスを入力します。尚、IP を払い出さずデフォルトゲートウェイ等のみを払い出す場合には、”動的 IP アドレスを配布しない”にチェックを付けてください。

◆ ネットマスク

当該サブネットのサブネットマスクを指定してください。Subnet Mask に反映させる値です。

◆ 割当ポリシー

IP アドレスを払い出す対象に制限をかける機能です。以下の 3 つの方式から選択が可能です。なお、「割当ポリシー対象」については後述のホスト管理をご確認ください。

方式	説明
全て許可	全ての DHCP クライアントからの払い出し要求に応えます。
ホスト管理で割当ポリシーを対象に設定したホストのみ許可	ホスト管理設定にて割当ポリシーを"対象"と設定した端末からの払い出し要求のみに応えて IP アドレスを払い出します。ただし、割当ポリシーを対象と設定しなかった端末であっても、DHCP INFORM に対する応答は行います。
ホスト管理で割当ポリシーを対象に設定したホストは拒否	ホスト管理設定にて割当ポリシーを"対象"と設定した端末からの払い出し要求のみに応えて IP アドレスを払い出しません。ただし、割当ポリシー対象の端末であっても、DHCP INFORM には対する応答は行います。

◆ 範囲

払い出す IP アドレスの範囲を指定します。ホストに固定で設定している IP アドレスと固定 IP アドレス払い出し設定に使用している IP アドレスは含まないようにしてください。尚、追加ボタンにて払い出す IP アドレスの範囲フォームを増やすことができます。

◆ ドメインネーム

当該サブネットのドメインネームを設定してください。Domain Name Option に反映させる値です。

◆ デフォルトゲートウェイ

当該サブネットのデフォルトゲートウェイを指定してください。Router Option に反映させる値です。

◆ DNS サーバ

当該サブネットで使用する DNS サーバのアドレスを設定してください。Domain Name Server Option に反映させる値です。尚、追加ボタンにて DNS サーバの入力フォームを増やすことができます。

◆ 標準リース時間

一般的に default lease time と呼ばれる値です。default lease time は DHCP クライアントから明示的にリース時間を要求されない場合に使用するリース時間です。IP Address Lease Time Option に反映させる値です。

自動的に更新処理が行われますので、リース時間経過後に使用できなくなるわけではありません。

◆ 最大リース時間

DHCP クライアントから明示的にリース時間を要求された場合に許容できる最大のリース（払い出し）時間です。

自動的に更新処理が行われますので、リース時間経過後に使用できなくなるわけではありません。

◆ WINS サーバ

WINS サーバの IP アドレスを設定してください。NetBIOS over TCP/IP Name Server Option に反映させる値です。尚、追加ボタンにて WINS サーバの入力フォームを増やすことができます。

◆ WPAD URL

WPAD の Proxy URL を設定してください。本項目の設定値 WPAD Option (Code252) に反映させる値です。

DHCP オプションに関連する項目を以下の表にまとめます。

DHCP Option Code	名称	設定項目
1	Subnet Mask	ネットマスク
3	Router Option	デフォルトゲートウェイ
6	Domain Name Server Option	DNS サーバー 1 ～ 2
15	Domain Name Option	ドメインネーム
44	NetBIOS over TCP/IP Name Server Option	WINS サーバー
51	IP Address Lease Time	標準リース時間
252	WPAD Option	WPAD URL

5.4. ホスト管理



◆ 閲覧/編集モード

閲覧を選択するとホスト情報を一覧表示する事ができます。編集を選択するとホスト情報を編集する事が出来ます。

◆ 表示モード

全表示、設定、リース情報から選択する事によって、表示する列を変更することができます。

5.4.1. ホスト情報一覧表示

部署	使用者	MACアドレス	割当ポリシー	固定IPアドレス	ホスト名	リースIPアドレス	有効期限
営業部	東城 太郎	00:00:00:00:00:07	対象外				
営業部	生野 太郎	00:00:00:00:00:08	対象				
営業部	東住吉 太郎	00:00:00:00:00:0a	対象外				
人事部	住吉 太郎	00:00:00:00:00:0c	対象外				
人事部	住之江 太郎	00:00:00:00:00:0d	対象外				
人事部	西城 太郎	00:00:00:00:00:0e	対象外				
人事部	大正 太郎	00:00:00:00:00:0f	対象外				
人事部	港 太郎	00:00:00:00:00:10	対象外				
人事部	此花 太郎	00:00:00:00:00:11	対象外				
人事部	福島 太郎	00:00:00:00:00:12	対象外				

DHCP クライアントの一覧が表示される機能です。本装置が IP アドレスを払い出した DHCP クライアントと本画面で登録したホストが対象となります。ラジオボタンの「閲覧」を選択することによって、編集を行えない状態で閲覧することが可能になります。以下に、それぞれの項目について説明します

項目	説明
部署	DHCP クライアントの使用者の部署が表示されます。後述の「ホスト情報の編集」で編集する事が出来ます。
使用者	DHCP クライアントの使用者が表示されます。後述の「ホスト情報の編集」で編集する事が出来ます。
MAC アドレス	クライアントの MAC アドレスが表示されます。後述の「ホスト情報の編集」で編集する事が出来ます。リース情報がある場合は、リース情報の MAC アドレスが表示されます。
割当ポリシー	「対象」である場合は、「割当ポリシー」の対象となります。「対象外」の場合は、「割当ポリシー」の対象とはなりません。
固定 IP アドレス	固定 IP アドレス払い出しの設定を行っている場合は、その IP アドレスが表示されます。後述の「ホスト情報の編集」で編集する事が出来ます。
ホスト名	DHCP クライアントが申告した Host Name option の値が表示されます。
リース IP アドレス	DHCP クライアントに払い出した IP アドレスが表示されます。
有効期限	払い出した IP アドレスの有効期限が表示されます。

5.4.2. ホスト情報の編集

サービス基本サブネットホスト管理ログメンテナンス

閲覧編集全表示設定リース情報

追加保存

10件ずつ表示

検索:

部署	使用者	MACアドレス	割当ポリシー	固定IPアドレス	ホスト名	リースIPアドレス	有効期限	複製	削除
営業部	東成 太郎	00:00:00:00:00:07	対象外					複製	削除
営業部	生野 太郎	00:00:00:00:00:08	対象					複製	削除
営業部	東住吉 太郎	00:00:00:00:00:0a	対象外					複製	削除
人事部	住吉 太郎	00:00:00:00:00:0c	対象外					複製	削除
人事部	住之江 太郎	00:00:00:00:00:0d	対象外					複製	削除
人事部	西成 太郎	00:00:00:00:00:0e	対象外					複製	削除
人事部	大正 太郎	00:00:00:00:00:0f	対象外					複製	削除
人事部	港 太郎	00:00:00:00:00:10	対象外					複製	削除
人事部	此花 太郎	00:00:00:00:00:11	対象外					複製	削除
人事部	福島 太郎	00:00:00:00:00:12	対象外					複製	削除

合計27件(1~10件目)

前頁次頁

ラジオボタンの「編集」を選択することによって、DHCP クライアントの情報を編集することが出来ます。編集項目は以下のとおりです。

項目	値	必須/任意	説明
部署	文字列	任意	部署を入力してください。
使用者	文字列	任意	使用者名を入力してください。
MAC アドレス	16 進数 12 桁 16 進数 2 桁×6 の コロン区切り 16 進数 2 桁×6 の ハイフン区切り (いずれも大文字 小文字は問わな い)	必須	DHCPクライアントのMACアドレスを入力してください。リース情報がある場合は、リース情報のMACアドレスが入力されています。
割当ポリシー	対象/対象外	必須	「対象」にすると、割当ポリシーの対象になります。「対象外」にすると、割当ポリシーの対象外になります。
固定 IP アドレス	10 進数ドット区 切り	任意	固定 IP アドレス設定を行います。

以下、編集方法について記します。

◆ 編集

ラジオボタンの「編集」を選択すると、編集可能な箇所の周りが緑色になります。緑色になった箇所にカーソルを合わせて、編集してください。

◆ 追加

新規にホストを追加する場合は、「追加」ボタンを押してください。「追加」ボタンを押すと、入力欄が追加されます。

◆ 複製

既存の設定を複製したい場合は、テーブルの右端にある「複製」を選択してください。選択した行のコピーが作成されます。

◆ 削除

ホスト情報を削除する場合は、テーブルの右端にある「削除」をクリックしてください。リース情報がない場合は、その行のホスト情報は削除されます。リース情報がある場合は、その行のリース情報以外の情報が削除されます。

◆ 保存

ホスト情報の編集を終えたら、保存ボタンを押してください。保存ボタンを押さないと編集した内容は保存されません。保存ボタンを押した後は、サービスのリロードを実行して、設定を反映してください。

◆ 閲覧/編集モード

閲覧モードではホスト情報の編集は出来ません。編集モードにするとホスト情報の編集が可能になります。編集モードから閲覧モードに変更、閲覧モードから編集モードに変更しても、編集中の内容は保持されます。ただし、本装置に保存されているわけではありませんので、設定の保存を行う場合は「保存」ボタンを押してください。

◆ 表示モード

表示モードを変更しても、編集中の内容は保持されます。ただし、本装置に保存されているわけではありませんので、設定の保存を行う場合は「保存」ボタンを押してください。

5.4.3. 固定 IP アドレス払い出し設定

任意の IP アドレスを固定で払い出したい場合は、ホスト情報の編集で固定 IP アドレス欄に、払い出したい IP アドレスを入力してください。この項目が空欄の場合は、固定 IP アドレス設定は行われません。

5.4.4. 割当ポリシー対象設定

割当ポリシー設定の対象とする場合は「対象」にしてください。「部署、使用者などの項目を入力したいが、割当ポリシーの対象にはしたくない」という場合は、「対象外」に設定してください。

5.4.5. 固定 IP アドレス払い出し設定と割当ポリシー対象設定の競合

固定 IP アドレス払い出し設定と割当ポリシー対象設定を同時に行った場合、固定 IP アドレス払い出し設定が優先されます。割当ポリシー対象設定が対象になっていても、対象外になっていても、固定 IP アドレスを払い出します。

5.5. ログ

システム設定で Syslog 通知が有効な場合にのみ利用出来ます。

The screenshot shows a web interface with a top navigation bar containing tabs: サービス, 基本, サブネット, ホスト管理, ログ (selected), and メンテナンス. The main content area is titled '取得内容' with a note: '※本体内に保存するログは、1ファイル10MB、過去履歴2件の計30MBまでです。'. Below this is a section '基本情報 (?)' with radio buttons for 'はい' and 'いいえ', where 'いいえ' is selected. The next section is 'Syslog設定'. It contains a 'ファシリティ' field with a dropdown menu showing 'daemon'. Below that is a '表示' section with a '選択' field and a dropdown menu showing '選択したものを表示します'. At the bottom is an '操作' section with a '保存' button.

5.5.1. 取得内容

◆ 基本情報

DHCP に関する基本的な動作ログを記録するかどうかを選択します。「はい」を選択することで動作ログを記録します。

5.5.2. Syslog 設定

◆ 送信先

システム設定の Syslog 通知で設定した IP アドレスに Syslog を送信します。

◆ ファシリティ

Syslog メッセージの Facility 値を設定します。daemon,user 及び local0～local7 から選択することが出来ます。

5.5.3. 表示

◆ 選択

表示・ダウンロードが可能なログファイルが表示されます。

5.6. メンテナンス

The screenshot shows a web interface with a top navigation bar containing tabs: サービス, 基本, サブネット, ホスト管理, ログ, and メンテナンス. The 'メンテナンス' tab is selected. Below the navigation bar, there are two main sections: 'DHCP設定' and 'ホスト管理'. The 'DHCP設定' section has two rows. The first row has a button 'エクスポート (2)' and an '実行' button. The second row has a button 'インポート (2)', a 'ファイルを選択' button, a status indicator '選択されていません', and an '実行' button. The 'ホスト管理' section also has two rows. The first row has a button 'エクスポート (2)', a dropdown menu 'Shift JIS ▼', and an '実行' button. The second row has a button 'インポート (2)', a dropdown menu 'Shift JIS ▼', a 'ファイルを選択' button, and a status indicator '選択されていません'.

5.6.1. DHCP 設定

◆ エクスポート

DHCP 設定のみをエクスポートする機能です。エクスポートしたファイルをインポートすることによって、過去の設定に戻すことが可能です。

◆ インポート

DHCP 設定のみをインポートする機能です。エクスポートしたファイルをインポートすることによって、過去の設定に戻すことが可能です。

5.6.2. ホスト管理

◆ エクスポート

ホスト情報を CSV ファイルにエクスポートすることが出来ます。ホスト情報は DHCP 設定のエクスポートにも含まれています。ホスト情報のみをエクスポートしたい場合にご利用ください。文字コードを選択してから実行ボタンを押してください。Windows でファイルの編集を行う場合は Shift JIS を選択してください。

CSV ファイルのカラムは以下のとおりです。

カラム	設定項目	説明
1	list name	使用しません。Enterprise モデルの旧バージョンからアップデートを行った場合は、「候補 (list name)」に該当する値が入ります。

2	部署	文字列が入ります。
3	使用者	文字列が入ります。
4	MAC アドレス	16 進数コロン区切りの値です。
5	割当ポリシー	対象の場合は「on」、対象外の場合は「off」になります。
6	固定 IP アドレス	10 進数ドット区切りの IP アドレスが入ります。

◆ インポート

CSV ファイルからホスト情報をインポートすることが出来ます。ファイルの文字コードを選択してから、ファイルを選択してください。エクスポートしたファイルをそのままインポートする場合の文字コードはエクスポートする際に指定した文字コードを指定してください。ファイルの編集を行った場合は、ファイルを保存する際に指定した文字コードを選択してください。Microsoft Excel で編集した場合は、通常、Shift-JIS で保存されます。なお、半角英数字しか利用していない場合は、Shift JIS、UTF-8 のいずれを選んでいただいても問題ありません。

対応する CSV ファイルの形式は以下のとおりです。（Microsoft Excel で編集する場合は意識する必要はありません。）

改行コード	CRLF、LF
区切り文字	カンマ
囲み文字	ダブルクォーテーション（記号やマルチバイト文字を使用する場合は必ずダブルクォーテーションで囲んでください。）

5.7. 設定編集 (サービスタブで直接編集を有効にしたときだけ表示)

サービス

設定編集

ホスト管理

ログ

メンテナンス

ファイルの選択

注意

設定の記述、内容の検証が完了したのちに、サービスタブでサービスを有効にしてください。

必須ファイル (2)

dhcpd.conf (このファイルを必ず作成してください。これ以外ではサービスの起動が行えません。)

WEB I/F で作成した設定をコピー (2)

実行

候補

dhcpd.conf

削除

このファイルは削除できません

設定の検証 (2)

dhcpd_t

実行

編集

ddns-update-style none;
option wpad code 252 = string;
ping-check false;
authoritative;

操作

保存

◆ ファイルの選択

WEB I/F で作成した設定をコピー	直接編集時のひな形として、WEB I/F で作成した内容をコピー
候補	編集するファイルを選択または新規作成
設定の検証	設定の検証ツールが存在する場合に表示

6. その他利用方法

6.1. SSH でログイン

本装置の IP アドレスに対して、SSH クライアントソフトウェア(Teraterm や putty 等)を用いて操作します。出荷時の IP アドレス・パスワード情報は、「

出荷時設定情報」を参照ください。

6.2. シリアルコンソールでログイン

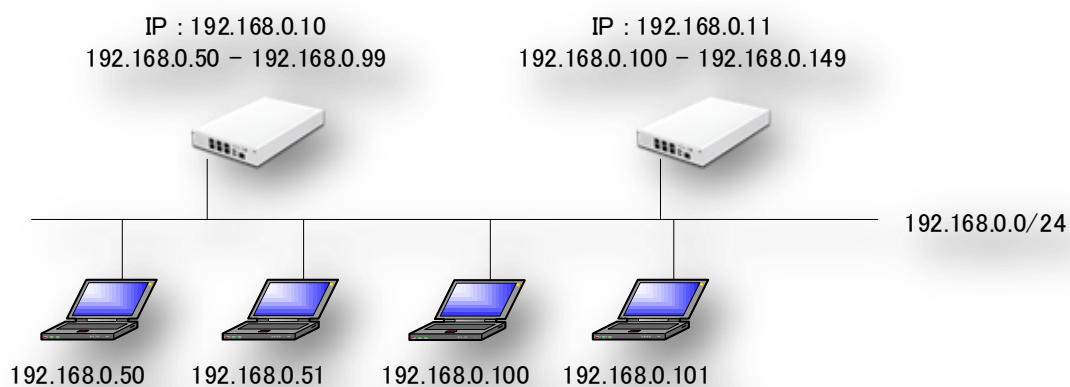
EasyBlocks の CONSOLE ポートと操作用の PC を接続し、シリアルコンソールソフトウェア(Teraterm や putty 等)を用いて操作します。コンソール用変換アダプタは、PC 側のシリアルポートに直接接続します。PC 側にシリアルポートが無い場合は、別途 USB・シリアル変換アダプタ等をご用意ください。

ボーレート	115200bps
データ	8bit
パリティ	なし
ストップビット	1

6.3. スコープを分割した冗長化

アプライアンス製品の冗長構成を構築しようとした場合、ネットワークに VRRP パケットが送信されます。複数の冗長構成可能なアプライアンス製品を用いた場合、VRRP ID の管理の煩雑化や、フェイルオーバー判断トラブル(電源断、HW やソフトウェア原因)によるものが発生する恐れがあります。

冗長化したことによるトラブルとは皆無となる、スコープを分けた DHCP サーバを複数用意することによる冗長を推奨いたします。



6.4. ファクトリーリセット

工場出荷状態に戻す場合、コンソールケーブルを接続しコンソールソフトウェアにてターミナルを表示してください。EasyBlocks 本体を再起動し、起動時の Grub メニュー表示時に”v”キーを入力し、”Factory Reset Mode”にカーソルを合わせて Enter キーを押してください。これにより工場出荷状態へと戻ります。

尚、工場出荷状態へと戻る為、設定等は消えますのでご注意ください。



6.5. BIOS 設定

本装置を起動し、画面表示が出た所で **Esc** キーを押すと BIOS 設定画面に入ることが出来ます。BIOS 設定値は変更しないで下さい。誤って変更した際には以下の設定を行って下さい。

[Save & Exit] - [Restore Defaults]と選択してください。

ぷらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F